

野沢温泉学園

地域支援センターだより 第5号

令和5年10月18日 発行：野沢温泉学園地域支援センター

暑く、長い今年の夏、こども園、小学校、中学校それぞれの校園で、子どもたちは元気いっぱい様々な活動に取り組んできました。秋の深まりと共に、積み重ねてきたことを成果として表す機会も増えてきました。そのような子どもたちの成長を見守り、時に支え、共に楽しむ。そんな支援センターでありたいと考えています。

「リアルのざわの時間」(小学校クラブ活動+)

子どもたちから人気の高い小学校のクラブ「のざわの時間」。その充実した内容を、ぜひ村のみなさんにも体験していただきたい！と、今年初めて、学園支援センターと公民館のコラボにより、「リアルのざわの時間」を開催しました！

8月7日当日は、いきいき大学の絵付けを含めた6つの講座に、合計50名余りのみなさんが参加してくださいました。親子連れの参加も多く、どの講座からも「楽しかった」「初めてやってみて、とてもよかった」「またこういう機会があったら参加したい」という声が多く上がりました。子ども

たちだけでなく、大人のみなさんがとても満足していた様子がとても嬉しく、印象的でした。講師のみなさんからも「とても楽しかった」「熱心に取り組んでもらって、私の方が勉強になった」「自分も他の講座に参加したいくらい」等の感想をいただきました。

学校の活動を核に、子どもも親も地域の方々もいろいろな立場の方々が一緒になって活動して楽しむって、とても素敵ですよ。この楽しさ、充実感をより多くの方々に味わっていただけるように、これからも工夫したいと思います。今回の開催に当たっては、社会教育委員のみなさんにもアシスタント(兼、参加者！)としてお力添えいただきました。子どものことに、たくさんの方が関わってくださる。村の大きな魅力です。



木工工作：段取りよく、素敵なお箱を見事に完成！



ペーパークラフト：200分の1の大きさの朧月夜の館を制作。楽しい！



ニュースポーツ：教室でポッチャ体験。異年齢対決で大盛り上がり！



折り紙：キーホルダーを制作。大人も中学生も小学生も一緒に全集中。



バルーンアート：大人も子どもも終始笑顔がいっぱい。

「村の魅力を発信」(中学生 総合的な学習の時間)

野中祭では、各学年が「総合的な学習の時間」で村の人、もの、ことに学び、村の魅力をどうやって発信するかを考え、取り組んできたことについて発表をしました。3seeds「遊具づくり班」「フォトスポット班」「サイダー班」の活動、スキー博物館での学芸員活動等、生徒たちが願いをもって、自ら考え、村の方々に支援していただきながら、何度も足を運び、時間と手間をかけて主体的に活動してきたことが、とてもよく伝わってきました。



野中祭の後も、開発商品の販売、フォトスポットや遊具の設置、御宿交流に向けた活動等、村の方々と共に、充実した活動を続けています。「支援から協働へ」「村を担う」そんな言葉が浮かんでくる頼もしい中学生の姿。これからの成長がいつそう楽しみです。



「ボランティアルームにお立ち寄りください！」

小学校2階、学習室2のとなりに、「ボランティアルーム」を開室しました！村のみなさん、PTA、先生方、いつでもどなたでも、ご利用いただけます。当面、毎週木曜日には支援センター事務局がいて、お茶も用意しています。ボランティアにおいでいただいた時に限らず、特に用事がなくても、ちょっと時間のある時に寄っていただき、子どもの元気な声をBGMにおしゃべりしませんか。畑や散歩のついで、こども園の送迎のついででも大歓迎です。どうぞ気軽にお立ち寄りください。お待ちしております！



(文責 藤村)

支援センターからお知らせ

・今年も「ボランティアのつどい(野沢温泉学園地域支援ボランティアのつどい)」を開催します！

11月20日(月) ボランティアのつどい15:50~16:50(小学校 学習室2・ボランティアルーム)
つどいの前に、小学校6校時の自由参観ができます。14:50~15:35

ボランティア登録されている方には案内を送付します。登録されていなくても、興味のある方は下記連絡先までご連絡ください。

・野沢温泉学園(こども園・小中学校)の支援ボランティアを随時募集しています。合言葉は「できることをできるときに」「楽しみながら」です。興味関心のある方は、下記までお問い合わせください。

支援内容: 校外活動・散策付き添い、家庭科のミシン・裁縫支援、図画工作の学習支援 等

連絡先: 野沢温泉学園地域支援ボランティアセンター(野沢温泉村教育委員会内)

担当: 藤村 TEL:85-3115